

## 「健やか親子21（第2次）」指標の技術的事項に係る修正一覧

	指標名	修正を検討すべき事項	事務局案
基 盤 課 題 A	指標9 小児救急電話相談（#8000）を 知っている親の割合	#8000事業の呼称については、「小児救急 電話相談事業」から「子ども医療電話相談事 業」に変更された	以下のとおり修正。 小児救急電話相談（#8000） ⇒ <u>子ども医療電話相談（#8000）</u>
		直近値修正（H30年母子保健課調査速報値）	以下のとおり修正。 79.8% ⇒ <u>82.5%</u>
	指標10 子どものかかりつけ医（医 師・歯科医師など）を持つ親 の割合	直近値修正（H30年母子保健課調査速報値）	以下のとおり修正。 〈医師〉 ・3、4か月児 78.4% ⇒ <u>77.8%</u> ・3歳児 90.6% ⇒ <u>89.8%</u> 〈歯科医師〉 ・3歳児 49.8% ⇒ <u>48.8%</u>

重点課題②	指標2 子どもを虐待していると思われる親の割合	<p>ベースライン後の調査では、以下の設問で1～7にあてはまる場合に「子どもを虐待していると思われる親の割合」としているが、設問と指標が一致していないとの指摘がある</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. しつけのし過ぎがあった</li> <li>2. 感情的に叩いた</li> <li>3. 乳幼児だけを家に残して外出した</li> <li>4. 長時間食事を与えなかった</li> <li>5. 感情的な言葉で怒鳴った</li> <li>6. 子どもの口をふさいだ</li> <li>7. 子どもを激しく揺さぶった</li> <li>8. いずれにも該当しない</li> </ol>	<p>指標名と調査内容を以下に修正。          指標：<u>体罰や暴言等によらない子育てをしている親の割合</u>          調査：左記設問のうち「8. いずれにも該当しない」にあてはまる場合にカウント</p> <p>* 上記の変更を反映した場合のベースライン値（無回答を除く）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3、4か月児 97.4%</li> <li>・ 1歳6か月児 94.1%</li> <li>・ 3歳児 89.8%</li> </ul> <p>平成26年度厚生労働科学研究（山縣班）</p>
		<p>「健康水準の指標」になっているが、指標名の変更に伴い修正が必要。</p>	<p>以下のとおり修正。          健康水準の指標⇒<u>健康行動の指標</u></p>

<p>指標 10          要保護児童対策地域協議会の          実務者会議、若しくはケース検          討会議に、産婦人科医療機関の          関係職種（産婦人科医又は看護          師や助産師）が参画している市          区町村の割合</p>	<p>ベースライン値の算出に、指標にある以外の          団体が含まれていた。</p>	<p>ベースライン値を以下のとおりに修正。          14.8% ⇒ 12.9%</p>
	<p>調査対象が要保護児童対策地域協議会のみ          であるため、指標名を変更。</p>	<p>指標名を以下のように修正。          要保護児童対策地域協議会の実務者会議、若しく          はケース検討会議に、産婦人科医療機関の関係職          種（産婦人科医又は看護師や助産師）が参画して          いる市区町村の割合          ⇒ <u>要保護児童対策地域協議会に産婦人科医療機          関が参画している市区町村の割合</u></p>